



創美流華道

第六十六回涼風七夕いけばな展

旧七夕會

日時 令和三年七月廿五日(日) 午前十時〜午後四時

御挨拶

令和三年 盛夏之候

- 主宰 ●創美流華道家元
 主催 ●創美華道會
 後援 東久留米市 花卉園芸新聞社
 協賛 (株)ミライエ ●菊音會
 ●創美流華道後援會

出瓶目錄



嵯峨源氏東根渡邊氏五十七代
家元十五世 鴻雲齋四世 **渡邊華靖**

- 副家元 松韻齋五世 **渡邊華璋** 鴻月會
 家元嗣 脩靜庵六世 **渡邊華闌**
 蓼注軒 萩原灑水 西日本

今回の華會も又 緊急事態宣言下の中での開催と成りました為二度目の無観客華道展として小さい乍らも一日のみで開き 動画配信にて後日御覧頂度願ひ上げます
 早 昨年三月より本部會館にての華會以外の行事は全て中止 流人御後援頂きます皆々様との面晤の機も大幅に少なく成り人生でこれほど人と會はない月日を過ごすのも又初めてで有りました
 本年の陰曆七夕は月遅盆と重なり八月十四日と成ります この新型病原菌を天の川道の波に流してしまひたき物で有ります 私は改めて八月十五日の詔書の御言宣(みことことば)七十六年前のと共に昭和廿年九月四日の議會開院式勅語を拜讀致し今の幾多の苦難を克服し今の時代も事の大小は別として立義立國の皇謨(みことごまことば)に則り政府議員が協力して大いに誠を竭(こ)させねばならぬこれを見て受けて國民が自ら奮い励まし共に如力協力をせねばと思ふのであります
 今華會には
 今の歳も集ふ事なきみまつりにふたとせぶりの面晤祈らむと詠みましたがこれも叶ふ事出来ず残念で有ります
 自らがはたと向きあひ活けあげしこの七夕にひとひ捧げむせめてもと花に捧げむ琴弾きて七夕遊びさびしくも有り

小 席

| | | | |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------------------|
| 家元 名譽師 範 | 菅野春祐 城 西 | 家元代見職 穂光 庵 | 高橋樵圃 埼玉縣 |
| 家元 後見職 松籟 庵 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 家元 華務職 桃李 庵 | 準 華 督 飯尾瀨眞 日本大学四年 |
| 家元 名譽師 範 | 大島溪舟 多摩中央 | 家元 參議 翠溪 庵 | 準 華 督 西連寺靜友 日本大学三年 |
| 家元 後見職 松月 庵 | 家元 參議 渡邊瞳 東京中央 | 家元 參議 家元 參議 | 準 會 頭 齋藤靜藍 穎明館高等学校二年 |
| 家元 後見職 香雪 庵 | 家元 顧問 渡邊松筠 東京中央 | 家元 顧問 渡邊雪花 東京中央 | 準 會 掌 森原靜康 浦和明の星女子高等学校一年 |
| 家元 後見職 暁聲 庵 | 家元 顧問 渡邊關祥 西日本 | 家元 顧問 渡邊雪花 東京中央 | 準 會 掌 赤見靜玲 女子栄養短期大学二年 |
| 家元 參議 價香 庵 | 家元 補佐 後藤咲樹 鴻月會 | 家元 顧問 渡邊雪花 東京中央 | 準 會 掌 赤見靜奈 日本ホテルスクール専門学校二年 |
| 家元 參議 知耀 庵 | 準 華 鑑 樋口景樹 鴻月會 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 準 會 掌 原谷瀨輝 川崎市立幸高等学校三年 |
| 家元 華務職 蕙香 庵 | 準 華 鑑 田中翠雲 青森縣 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 三級教授 金子風璋 上智大学三年 |
| 師 範 | 準 華 督 古田遙雲 青森縣 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 二級 級 福中美尋 国立音楽大学附属中学校二年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 二級 級 片桐夏花 小平市立花小金井南中学校一年 |
| 師 範 | 準 華 督 上田靖卯 埼玉縣 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 三級 級 渡邊文誇 玉川学園小学校四年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 神山惠璋 鴻月會 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 四級 級 砂生心香 小平市立第十一小学校五年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 五級 級 石川貴晴 小平市立第七小学校六年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 五級 級 早川寛菜 東久留米市立下里中学校一年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 五級 級 早川寛子 東久留米市 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 五級 級 桐木平美沙 東久留米市立第九小学校二年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 五級 級 高橋歩花 小平市立花小金井小学校二年 |
| 師 範 | 準 華 鑑 前田靜宏 東京中央 | 家元 補佐 渡邊關祥 西日本 | 五級 級 安田実郷 調布市立第三小学校六年 |

学生子供席

東日本最古 二百七拾壹年前の 初代鴻雲齋宗興の瓶華圖



箏 菊音會

- 高橋琴音 アミューズメントメディア総合学院一年
 中戸 奏 東久留米市立中央中学校二年
 松崎佳帆 武蔵野大学中学校一年

箏曲演奏 十時〜十一時

- 「さくら」
 「荒城の月」
 「かぞえうた」
 「お江戸日本橋」
 「雪はな」

本華展はHPに
 後日掲載致します
<http://www.sobiryu.jp>

撮影 岩崎昌

